

令和6年度 第3回大阪市地方独立行政法人天王寺動物園評価委員会 議事要旨

■開催日時：令和6年12月9日（月）13：30～15：10

■開催場所：天王寺動物園 TENNOJI ZOO MUSEUM

■出席者：

（委員） 有田 真紀 有田真紀公認会計士税理士事務所 公認会計士・税理士  
高坂 佳詩子 弁護士法人色川法律事務所 弁護士  
佐渡友 陽一 帝京科学大学生命環境学部 准教授  
高瀬 孝司 オフィスT 代表（委員長）  
原 久美子 公益社団法人日本動物園水族館協会 専務理事  
水上 啓吾 大阪公立大学大学院都市経営研究科 准教授

（大阪市） 佐々木 康晴 建設局公園企画運営担当部長  
池松 敏彦 建設局公園緑化部事業所企画調整担当課長  
吉田 祥子 建設局公園緑化部調整課動物園支援担当課長代理  
浦野 路与 建設局公園緑化部調整課担当係長

外2名

（法人） 計8名

【議事要旨】

1 開会

2 第2期中期目標について

資料1・2について事務局より説明

<意見>

- ・ 第2-3-(2)「動物福祉に配慮した獣舎整備等の推進」について、方向性としてはいいと思うが、本文をみると動物福祉よりも地球環境のことがメインになっているため、タイトルを「動物福祉や地球環境に配慮した獣舎整備等の推進」のような形に変更すると整合性がとれるのでは。（佐渡友委員）
- ・ 経営戦略（仮称）の作成にあたっては、時機を見た入園料の改定や、ファンディングにおける目標や具体的なプロジェクト等の検討を踏まえたものとしてほしい。（佐渡友委員）
- ・ 組織力向上計画においてはファンディングについて外部の知見を取り込みやすい方策の検討が重要である。（佐渡友委員）
- ・ 今後、役員の交代により、理事会に動物園専門家がいらないという状態にならないか危惧される。長期的な動物園のあり方を考えると、現在の体制で問題がないか気になる。（佐渡友委員）
- ・ 組織力向上計画（仮称）は長期的な動物園運営において非常に重要なポイントである。スペシャ

リスト集団のような職場では、そうした職員の待遇がしっかり改善されているということを下の世代が実感できないと長期的に人が集まらなくなる。しかし、現在人件費が上昇傾向にあり、今後も継続すると見込まれるので、これをチャンスと捉え、独法の特性を活かして職責にあった給与体系を検討する等いろいろと工夫してほしい。(水上委員)

- ・ インセンティブが適正に働く人事評価の一つとして、提案型の研修が取り入れられていることは非常に良い。(原委員)
- ・ 第3-1-(2)に「専門性を磨く制度」という表現があると、法人職員の方も活用しやすいのでは。(原委員)
- ・ 第2-2-(1)にある「動物との適正なふれあい方」という表現は、直接触れるふれあいも想起するので、別の表現を検討してほしい。(原委員・高坂委員)
- ・ 以前からお伝えしているが、やはり自己収入が少なすぎる。経費削減も限界があるので、収入を増やしていくためには、大阪市として法人に対してどこまで求めるかを具体的に示す必要がある。(有田委員)
- ・ ファンドレイジングや寄附金収入を収入の柱にしていくなれば、法人内部に専門家を雇用して企画運営してもらう必要があると思う。(有田委員)
- ・ 資料1に組織・体制の課題としてまとめられている内容は、第1期中期目標期間の総括と課題が混在しているので、総括・課題・それに対する対応策、という流れを意識して次回検討してほしい。市としての意思、主張がよく表れており、どのように法人と一緒に作っていくかが伝わる目標となっている。(高瀬委員長)
- ・ 最近は「種の保存」より「保全」という言葉を使うことが多い。保全の方が広い意味になる。(佐渡友委員・原委員)
- ・ 第2-1-(4)の本文に、資料1にある「休憩スペースの確保」を追記してはどうか。天王寺動物園内は来園者用の冷房が効くスペースが非常に少ないという点が以前から気になっており、今後の整備計画では考慮いただいた方がいいと思う。(佐渡友委員)
- ・ ファンドレイザーの雇用はとても重要である。専門的見地からアドバイスする人と、実務を指揮するマネジメントクラスの人、それを現場で支えるプロのファンドレイザーという体制でないと伸びづらく、その体制だとしても効果が出るまで数年かかると思うので、戦略的に取り組んでほしい。(佐渡友委員)
- ・ ファンドレイジングにあたっては、どのように外部人材を活用するのが重要な課題だと感じている。雇用を前提とすると継続雇用による費用面の課題があり、費用対効果の検証も必要であると思うので、活用はよく研究したうえで決める必要がある。(高坂委員)
- ・ 専門人材の登用は難しく、こういった形であってもすぐに効果の出るものではないので、5年目の到達目標を持っておき、2～3年で見直しをすればよいのでは。(高瀬委員長)
- ・ 収入確保の手段として、市税以外からの資金調達の活用とあるが、第4-1-(2)の中であまり言及がなかったと思うので、可能性があるなら一定程度示してはどうか。(水上委員)
- ・ 「世界に誇れる動物園」という大きなスローガンがあるが、天王寺動物園はこういうところに特化している、こういう園をめざしている、といったスローガンを具体化したイメージの検討もぜひしてほしい。(高瀬委員長)

### 3 【報告事項】第1期中期目標期間における業務実績（見込）の評価について

資料3について事務局より説明

<意見>

- ・ 正直やってみないと分からない。やりながら柔軟に改良していくことが必要になる。実際に評価してみて初めて気づくことはどうしても出てくると思うので、そこは機動的に進めてほしい。  
(佐渡友委員)
- ・ 評価方法を決めてかかるのではなく、可能な限りフレキシブルに進めていくことが必要である。  
(高瀬委員長)

### 4 閉会